

『学校における女性の管理職登用の促進に向けてⅡ』発行

国立女性教育会館

国立女性教育会館では、学校教育における男女共同参画に関する課題の一つである女性の管理職登用の促進をテーマとして、冊子『学校における女性の管理職登用の促進に向けてⅡ——現状と課題、登用促進のための取組のヒント』を発行しました。

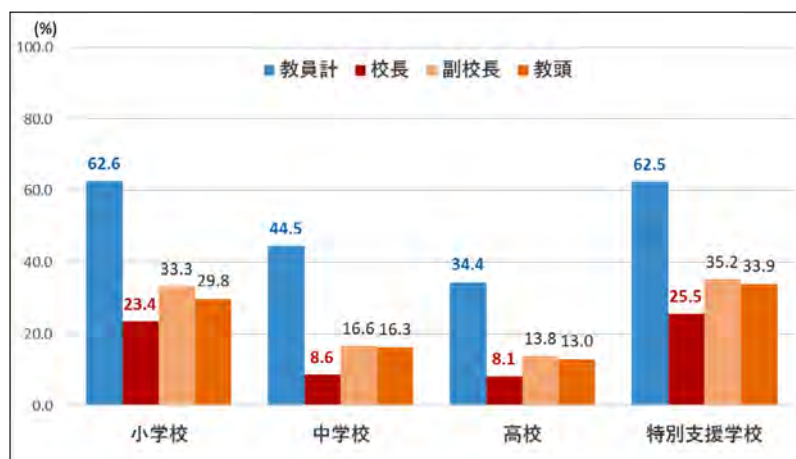
男女共同参画社会の実現は、特に近年では、持続可能な社会を築いていくための地球規模の重要課題となっていますが、日本社会の取組は、他国に比べて大きく遅れています。他の分野と同様、学校教育においても、女性は意思決定過程に十分に参画できていません。下の図は、公立小学校・中学校・全日制高校・特別支援学校の校種別に、教員全体および管理職に占める女性の割合を示したのですが、教員全体に占める女性の割合に比べ、管理職に占める女性の割合は、明らかに低いことがわかります。教員の働き方・暮らし方は、ロールモデルとして、これからの社会を担う子供たちの男女共同参画を推進する意識にも大きな影響を与え得ることから、女性の管理職への積極的な登用や男女教員のワーク・ライフ・バランスの視点に立った働き方の見直し等を進めていくことが大切であるといえます。



管理職の性別割合の大きな偏りの背景には、学校や教育委員会の仕組みや慣習、地域の環境、個人の意識や姿勢といった様々な複合的な要因が関連しており、それらが複雑に絡み合っているため、現状を変えるのは容易ではありません。そのためには、学校や教育委員会、地域等で、組織的な学び合いの機会を継続的に持つことにより、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに気づき、女性の管理職登用を阻害する慣習や仕組みを変えていくことが必要です。本冊子では、このような変革に向けた学び合いの機会に役立つよう、初等中等教育における管理職に占める女性の割合に関する統計データを、校種や経年の変化、地域等に注目してわかりやすく示すとともに、女性の管理職登用の促進が求められる背景や、実践事例を交えた取組のヒントをまとめました。

多様な人材が意思決定過程に参画する、より魅力ある組織づくりに向けて、学校や教育委員会、地域において、是非御活用ください。

図 校種・職位別 管理職に占める女性の割合



出典：文部科学省「学校基本統計」(令和3年度)より作成



本冊子は以下 URL からダウンロードすることができます。

<https://www.nwec.jp/research/teacher.html>